


項目	内容
名称	ゴシュユ、ホンゴシュユ、ニセゴシュユ [英]Evodia、Wu-Zhu-Yu、Evodiae、Evodiamine [学名]Evodia ruticarpa (Juss.) Benth.、Evodia officinalis
概要	<p>ゴシュユは、中国原産のミカン科の落葉低木で、高さ2.5～3 m程度に生長する。主に果実や根皮が使用される。</p>  <p>写真提供: 広島大・医歯薬・生薬学研究室</p>
法規・制度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食薬区分 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴシュユ (ホンゴシュユ) 果実：「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に該当する。 ■ 日本薬局方 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴシュユが収載されている。 ■ 食品添加物 <ul style="list-style-type: none"> ・天然香料基原物質リスト ゴシュユが収載されている。
成分の特性・品質	

主な成分・性質	・キナゾリンアルカロイド類 (ルテカルピン (rutaecarpine)、エボジアミン (evodiamine)、ルタエビン (rutaevine) など)、リモニン (PMID:23738236)、リモノイド (PMID:17283664) などを含む。
分析法	・インドールキナゾリンアルカロイド類およびキノロンアルカロイド類をHPLC-DAD法にて分析した報告がある (PMID:23738236)。 ・果実中のインドールキナゾリンアルカロイド類をNMRにて同定した報告がある (PMID:23672251)。 ・果実中のキノロンアルカロイド類をNMRにて同定した報告がある (PMID:22406451)。 ・未熟果中のリモノイドをNMRにて同定した報告がある (PMID:17283664)。
有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について) (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:23738236) J Anal Methods Chem. 2013;2013:827361. (PMID:23672251) Nat Prod Res. 2013 Oct;27(20):1917-21. (PMID:22406451) Fitoterapia. 2012 Jun;83(4):709-14. (PMID:17283664) Pharmazie. 2006 Dec;61(12):1038-40. (PMID:16041650) Planta Med. 2005 Jul;71(7):640-5. (PMID:16099612) J Ethnopharmacol. 2005 Dec 1;102(3):440-5. (PMID:15720787) J Pharm Pharmacol. 2005 Feb;57(2):227-32. (PMID:24384379) Ethnopharmacol. 2014 Feb 12;151(3):1072-1078.